

「6と9の関係」

教頭 副島 俊彦

令和6年9月の季節は何だと感じましたか。暦や気象学等での季節は決まっているようですが、多くはそれぞれの人の感覚で決めている気がします。私の幼少期の頃は「秋」でした。夕方にはアキアカネなどの赤とんぼが飛び回り、お月見の夜には団子を食べていました。高校生の頃もまだ「秋」でした。ただし、お月見の頃には当時発売されたばかりの月見バーガーを食べた記憶があります。しかし、今年の9月は「真夏」でした。長崎地方気象台の観測データを調べると最高気温35℃以上の猛暑日が6日（8月は4日、昨年9月は0日）もありました。この予想以上の暑さの中での体調管理は大変だったと思いますが、みなさんの理解と協力のおかげで充実した9月の学校生活になったのではと思います。ありがとうございました。



さて、私は6月以来の原稿が9月となるのですが、6と9の数字の形はほぼ同じですよ。では、「6の形をどのようにすれば、9の形になるのか具体的に表現してください」と質問されたらどのように答えられますか？ 私の妻に聞くと、「そんなろくでもないことを急に言われても困る」という表情をしながら「ひっくり返す!」と答えました。私が昔読んでいた漫画でも「6をひっくり返すと9になる」と言った超人がいたので一般的な答えかなと思います。他には、「裏返す」「上下逆にする」「180°回転させる」なども考えられると思います。おそらくどの答えでも相手が2つの数字を知っていれば、こちらの意図を理解してくれると思います。しかし、本当はどれも表現が不十分です。数学的な表現を使わなくても「表裏はそのまま上下を180°回転させる」くらいの表現は少なくとも必要だと思います。しかし、すぐにその表現をできるかと言われると悩みます。さらに数字ではなく見たことのない立体的な図形に関して考える場合はもっと難しく感じます。



なぜ、こんな話をしたのかというと、今後個人が身につけるべき能力の1つに「相手にわかるように説明する能力」があるという話を聞いたからです。私たちは家族や仲間など、互いの常識や文化的背景等の共通点から相手の意図を汲み取ろうとする間柄で話をすることが多いです。つまり正確に物事を表現できなくても、ある程度内容を伝えることができる環境で過ごしています。しかし、今後は国際化、超高齢化、ジェンダーレス化、インクルーシブ教育など多様性を認める社会が進み、海外だけでなく国内でも思考が全く異なる相手と関わることが増えてきます。場合によっては話の相手はヒトではなくAIかもしれません。また、研究論文の実験方法は、他人が同じ結果を再現できるように文章で正確に記すことが求められます。

このような能力を高めるには、どうすればよいのでしょうか。周囲の人とも意見交換しながら行動してみてください。様々な方法があると思います。中にはそんな能力や行動は不要だ!という意見の人もあるかもしれませんが、それはそれで大きな発見であり能力を高めるチャンスだと思います。難しく考えすぎずに、相手の話を聞いて違いを受け入れることから始めてみませんか。

第46回体育大会

9月8日(日)に『Be Real』～おさめろ青春の1ページ～のテーマのもと北陽台高校グラウンドで、第46回体育大会が盛大に開催されました。各班・各クラスのリーダーを中心に協力し合い、工夫を凝らしながら練習を重ねてきました。応援合戦の準備の段階では意見のぶつかり合いもあった事だと思いますが、それを乗り越えて大きく成長したと感じています。真剣勝負あり、パフォーマンスもあり、生徒たち、教職員、観客の皆さまにも多くの笑顔があふれ心に残る1日になりました。当日は保護者の皆様をはじめ朝早くから大変多くの方にご観覧いただき感謝しています。



「薬物乱用防止教室」講演会を開催しました

9月12日(木)、長崎税関の中尾 孝 様と川崎 祥太郎 様(本校33回生)を講師としてお迎えし、「薬物乱用防止教室」講演会を行いました。薬物を使用した際の心身への影響を知るとともに、普段の生活行動と健康の関係について理解を深め、薬物の誘惑に負けないような自制心を身につけようと決意を新たにすることができました。また、税関業務の説明や麻薬探知犬によるデモンストレーションにより、税関についての理解を深めることができました。



理数科

第26回 中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会が、8月19日(月)・20日(火)の2日間、島根県民会館にて行われ、理数科3年生の生徒6名がステージ発表の部とポスター発表の部にそれぞれ県代表として出場しました。

ポスター発表の部では、各県代表が出場するなか、「ヨメガカサガイの避暑行動に関する研究～暑い日には風通しを良くすべき?～」が最優秀賞に選ばれ、ステージ発表の部「ウノアシガイの隠蔽擬態に関する研究「～白模様に隠された秘密～」が優良賞に選ばれました。

他校との交流で他県の高校生や高校・大学の先生方との意見交換の機会に恵まれ、自分たちの探究がさらに深まりました。



発表の様子 (ステージ発表の部)



発表の様子 (ポスター発表の部)



学年の目標を覚えていますか？

1 学年主任 下條 尚子

「Bear your own fruit and give it to others.～結実せよ。貢献せよ。～」という言葉を知っていますか？これは、4月に学年主任の先生から提示された学年の目標です。3学年そろっての大きな行事である体育大会が終わりました。一人一人が精一杯の力を発揮し、自分の班に貢献できたでしょうか？班のために、そこにいる誰かのために、小さな一歩から。体育大会、みんなの笑顔、とても素敵でした。さあ次は実りの秋です。これまでの学習を結実させよう。定期試験や模擬試験の振り返りを必ず行い、自分の弱点を知ってください。そして、妥協することなく、真摯に向き合ってください。質問もお待ちしております☆

保護者の皆様、最近のご家庭でのお子様の様子はいかがですか？学校生活に慣れ、生活のリズムも整いつつあるのではないのでしょうか。9月までのサポートありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

準備が大事！！

2 学年

今年の夏、14回目のインターハイ（登山競技）に役員として参加しました。立場は色々ですが、インターハイに何回参加しても上記の言葉を毎回痛感します。自分で準備は万全と思っても、直前や本番になると「そういえば、まだ・・・」と感じてしまうときに限って、あまり良くない結果になることが多かったように思います。これは何回も経験（失敗？）をしたからこそ、少しずつ分かってきたことでもあります。

参加14回のうち、今年の登山部女子も含めて計6回の全国優勝に関わりました。何度も試走し、事前の確認などを入念にしてきたからこそ、不安なく本番で力を発揮し、結果を残してきたのだと思います。0.1点で順位が大きく変わる登山競技は、準備が非常に大切な競技です。今年の登山部男子は0.1点でメダルを逃して5位入賞となり、悔しい思いで壇上に立つ男子キャプテンの姿は今でも忘れられません。この悔しさや0.1点の重みを知っている男子の新キャプテンを中心に、来年こそは男女ともに笑顔で終わられる（全国優勝）と私は期待しています。

さて、これから進研模試や県一斉などの対外試験、発表を控える探究活動、県新人戦や総文祭などの各種大会、健脚くらべや凧あげ大会や修学旅行などの学校行事・・・と2年生の後半は様々なことが待っています。限られた時間での準備で忙しい日々になる人も多いかと思いますが、しかし、何事も準備は万全にすることを忘れずに取り組みしましょう！また、何か困ったときは一人で悩まず、誰かに相談したり、助けを求めたりしましょう！周りの仲間や先生方がきっと支えてくれます。

45回生一人ひとりが主体的に行動し、よりよいものを創りあげると信じています。充実した2年生後半を過ごしましょう！

山に登る数学科の教員より

3 学年より

～体育大会 応援活動～

9月8日(日)に体育大会が実施されました。ここでは、3年生を中心に活動した応援活動の様子をお届けします。

1班 赤組



2班 青組(応援活動の部 優勝)



3班 黄組



4班 緑組



9月27日(金)の3学年PTAにおきましてご多用の中、多くの保護者のみなさまに参加していただきありがとうございました。

～今後の予定(3学年関係)～

○10月9日(水) 3学年地域清掃活動および秋のレクリエーション

○10月10日(木) 共通テスト100日前集会 放課後講座開始

10月の主な行事予定

- 1日(火) 2学期定期試験 (~2日)
- 3日(木) ⑦健康教育講話
- 4日(金) 英検
- 9日(水) 3年秋レク
- 12日(土) 校外記述模試(3年) (~13日)
- 17日(木) ⑦人権教育
- 19日(土) オープン模試(3年)
- 21日(月) 大学出前講義(1・2年 午後)
- 24日(木) 芸術鑑賞会(午後)
- 31日(木) 人生の達人セミナー(午後)

